

追 悼

理 事 池 田 正 二 博 士 を 悼 む



本会理事池田正二君は去る7月14日午前1時20分急逝されました。突然の訃報に接し悲しみにたえません。君は大正12年東北帝国大学工学部機械工学科卒業後直ちに鉄道大臣官房研究所に入所、昭和24年国有鉄道を退官して株式会社神戸製鋼所に入社、本年3月同社原子力研究室長となられ今日に至りました。この間多くの研究業績を挙げられましたが、今後は新分野である原子力研究についても君に期待するところ甚だ大きいものでありました。

本協会につきましては、過去において多年編集委員として会誌「鉄と鋼」の編集に多大の尽力をされましたが、本年4月の総会において理事に選任されて以来は、協会事業全般に亘り積極的にその実施を推進すべく構想を練つておられました。逝去の前々日にも企画委員会に出席し今後の事業計画につき協議されたばかりでありまして、突然の知らせに茫然たるを禁じえません。また最近鉄鋼界において共同研究の必要性が叫ばれている折柄、その手初めとして関係学協会に呼びかけ特定問題について共同研究組織を作ることを計画中でありますが、君にはその中心となつて活躍して頂くことを期待しておりましたのに、今はそれも空しくなりました。誠に哀惜の至りであります。

ここに君の遺された幾多の業績に対し深甚の敬意を表し、謹んで君の冥福を祈ります。

昭和35年7月16日

社団法人 日 本 鉄 鋼 協 会